

<学校教育目標>

～ 夢に向かって ～

第10号

令和7年12月24日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『 前 』

校長 小熊 誠

登校する生徒たちの真っ白な吐息、紅潮した頬、透き通った空。日本の冬がやってきました。長かった80日間の2学期も今日で終了です。保護者・地域の皆様のお陰で何とか2学期の終業式を迎えることができました。ありがとうございます。明日からは14日間の冬休みが始まります。もしかしたら、家族で過ごす時間が一番長い休みになるかもしれません。皆様、どうぞ御家族での会話を大切に有意義な時間をお過ごしください。とは言え、3年生にとっては、勝負の時となります。私立の入学試験中心日まで後29日、県公立の入学試験まで後64日と迫ってきています。一人ひとり納得のいく時間を過ごし、自信をもって、令和8年の開幕を、勝負の時を迎えてください。それぞれの勝利を信じています。

さて、今年も日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」が発表され、清水寺で森清範貫主によって揮毫されました。今年は「熊」です。日本各地での熊の出没による国民の関心と不安を表しているそうです。2位の「米」や3位の物価「高」等、国民の生活に直結する話題を示す漢字が選ばれていました。来年こそ、もっと日本中を明るく元気にさせてくれる漢字が選ばれることを願っています。そんな中、私も「私の漢字」(例年選んでいます)を決めました。『 前 』です。土屋は、学校の主役である生徒たちの活躍により、着実に前へ進み始めています。「心染色“こんぱす”」も本格的に動き出しました。生徒会のスローガンにも『 前 』を含む3つの前進が含まれています。「生徒の 生徒による 生徒のための学校」が動き出しました。令和8年度、土屋がどこまで『 前 』に進みどんな「メガ進化」していくのか本当に楽しみです。皆様どうぞ御期待ください。

今月は3年生一人ひとり向き合った9月17日から始めた私との面談の結果をお知らせします。一人10分足らず時間のですが、笑いあり、涙あり、生徒たちの心に直接触れることができた貴重な、幸せな時間でした。生徒たちには必ず右のグラフの3つの質問をしました。御覧の通り、生徒たちの日常は、「部活」と「勉強・テスト」がその大部分を占めていることがハッキリと示されています。昨今イロイロと話題に上がっている部活ですが、生徒たちがより輝くために、土屋独自のスタイルを探り、実践していくことが喫緊の課題です。皆様のお力が必要です。どうぞよろしくお願いします。また、「イヤだったこと」の1番が、「勉強・テスト」でした。その中で「いつのテストが一番イヤだったのか」の質問にはほぼ7割が、2年3学期学年末テストと答えました。範囲の広い学期1回のテストに、しかも3年を直前に控えたテストに大きな不安を感じたようです。私たち教職員一同しっかりと受け止め、改善に向け前進して参ります。令和8年も、これらの生徒たちの思いを大切に「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」の実現を目指し、教職員一同尽力する所存です。

最後に、保護者・地域の皆様、今年も御理解と御協力、そして温かい御支援を賜りどうもありがとうございました。令和8年も土屋中学校、どうぞよろしくお願いいたします。少し早いですが、皆様良いお年をお迎えください。

